



ウルムス

～友達を思いやり、友達とひびき合う心～

学校ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kamariyaminami/>
代表メールアドレス ky-e-kamariyaminami@city.yokohama.jp



令和 5年 11月 30日

横浜市立釜利谷南小学校

12月号

校長 平野 好子

自分で考え、相手に思いを伝える

いよいよ、一年の最後の月、師走となりました。今年度も8か月が過ぎ、残すところ、あと4か月です。教育活動の中で、子どもたちが自主的に活動し輝く場面から成長を感じます。子どもたちの様子をいくつか紹介したいと思います。

「みんなで仲を深めて、楽しい全校遠足にしよう」をスローガンとした全校遠足では、グループの仲間で協力しながら、ウォークラリーや各班で計画した遊びを楽しんでいました。活動の中で、上の学年が下の学年を気遣う姿は実に自然でした。その場の雰囲気穏やかで温かなものにしていました。これまでのたてわり活動で、低学年の時に自分たちがしてもらったうれしい声かけや助けを高学年になった今、目の前の仲間に自然と行うことができているのだと感じさせられました。



本校では、毎月、児童朝会が行われます。ここで、5、6年生の子どもたちが委員会活動での役割を担って自主的に活動している様子が見え、児童朝会の運営は、運営委員会が行い、放送の準備は放送委員会が行います。健康保持増進のための健康委員会による姿勢体操から始まり、各委員会から全校児童に知らせたいことを伝えます。今回は、図書委員会から読書週間をきっかけとする読書推進について伝え、環境美化委員会から「掃除をやらないと・・・」を寸劇にし、掃除の仕方に関するクイズを出し、掃除について一人ひとりが考える時間を持ちました。給食委員会と図書委員会がコラボして、12月9日(土)のニレの木スタディフェスタの日が給食特別メニューであることも伝えました。本校図書館にある低・中・高の本の中に出てくる料理を基にして、学校司書と栄養職員とで考えた当日のメニューと今よりもっと本に親しんでもらうための取組については、明かされず、後日のお楽しみとなりました。子どもたち自ら、自分たちが行っている委員会活動について、全校の子どもたちに知らせることができるよい機会だと思っています。

今年は本校を会場にして、近隣である西金沢学園と本校の両校の5年生が集まり、球技大会が行われました。サッカーとバスケットボールのゲームに参加することによって相互の親睦を深め、よさを認め合うことが金沢区球技大会実施計画のねらいでした。

それぞれが学習を通して、ボールの扱いやパスやドリブル等の技を磨いてきました。自分のチームがリングやゴールにシュートを決めるために、チームの中での自分の役割を意識しながら、自主的に動く姿がありました。プレーする仲間への励ましの声、指示・アドバイスの声をかける姿には、子どもたちの成長を感じ、観ている者を感動させてくれました。相手の素晴らしいプレーに「おおっ!」「すごい!」「ナイスプレー!」と素直にたたえる姿も見えて、とてもうれしく、頼もしく誇らしくなりました。



見事にねらいを達成した5年生に、相手チームがいるからこそ、自分がプレーできるということを実感してほしいと伝えました。子どもたちの素晴らしい姿と笑顔にエネルギーをもらうことができました。

12月9日(土)には、ニレの木スタディフェスタを行います。今年のスローガンは「祝35周年! ワクワクパワーでみんなの思い出に残るスタディフェスタにしよう」です。各学年、スローガンのもと、一人ひとりが自分の伝えたいことや役割を意識し、集団で取り組みます。保護者の皆様、他学年の児童に相手意識をもって学んだことを豊かに表現し、伝える場となります。

またひとつ、4月からの成長を感じる場となることと思います。

今後とも地域の皆様、保護者の皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。